

第35期第1回理事会議事録

日時：2024年1月28日（日）14:00～16:50

場所：ハイブリッド形式（産業医科大学東京事務所 & Zoom会議）

出席者（50音順、敬称略）：浅海、荒木、岡原、小笠原、楠本、高畑、佐藤、清水、西、橋元、樋上、深井、増田、山下、山瀧、山本

特別参加：堀江正知 先生/副学長

欠席：池上、加藤、喜多村、久保、倉岡、中谷、本田、守田

1. 会長挨拶（西）

私が会長になって約4年経過しますが、初めて対面の理事会を開催することが叶い嬉しく思います。産業医学推進研究会第35期が始まり3か月余り、会としても様々な活動が進んでいます。会員の活発な情報発信はもちろん、会費未納やメール不達の問題解決に向けた取り組み、第36回全国大会と第37回全国大会の準備などが進み大変うれしく思います。

2. 大学近況（副学長 堀江様）

• 教育：

昨年10月から対面授業が再開し、各種行事も実施・参加の制限も解除された。

CBT・OSCE 公的化が始まった。合格しないとスチューデントドクターとして認められず臨床実習に進めない。

文部科学省が策定する令和4年版医学教育モデル・コア・カリキュラムへの対応を進めている。

産業衛生科学科が2024年3月に卒業生を輩出する。

衛生工学衛生管理者研修を卒業直後に実施する予定。

産業医大認定ハイジニスト制度が発足する予定。卒業生は実務経験1年を経て受講予定。

同認定者は厚生労働省化学物質管理専門家にも認定される予定。

入試改革

医学部入試のこれまでの一般入試A方式、学校推薦方式に加えて、総合型選抜、B方式、C方式を設定。

医学部B方式（個別学力検査＋小論文）

医学部C方式（大学入学共通テスト＋小論文）

志願者数の合計は1500人から2000人以上に増加している。

医師国家試験

合格率は全国上位1/4以内又は95%以上が目標。

• 研究：

大型研究費取得を目指している

THE世界大学ランキング 国内11位、私立大学1位

受入研究費がやや減少傾向。論文数は減少していない。

• 産業医及び産業保健専門職の要請：

産業医新規従事者数70人以上/年

産業医大医学部卒業生の不同意離脱に関する検討会を開催中

日本専門医機構から「地域枠及び従事要件のある専攻医の取扱いについて」が公表され、地域枠及び従事要件がある専攻医の不同意離脱に対して「不同意のまま離脱した場合専門研修とは認められず、医療機関は次年度の採用定員を減ずる。」とされたことを受けて、本学の方針を検討する。日本経団連、連合、労働者健康安全機構、弁護士、法学者による検討会を開催し、2月上旬に取りまとめ中である。

• 病院運営：

急性期診療棟（2023年8月17日開院）が順調に稼働中。

• 社会貢献：

能登半島地震

災害産業保健センター等の教職員が自治体職員の支援のために派遣中。

• 業務運営：

第4次中期目標・中期計画（2022年～）

大学基準協会（JUAA）評価

2021年度に3期目の大学基準適合認定 7年間

日本医学教育評価機構（JACME）評価

2023年度に認定 7年間

産業医科大学未来構想2040

UOEH ReBORN キャンパスマスタープラン2023

• 大学行事予定：

卒業式 3月6日、入学式 4月4日

3. 担当理事報告

1) 会長（西）

2023年9月24日から2023年1月28日まで

- ・9月30日 大学病院急性期棟への寄付（感謝状を頂く）
- ・10月7日 産業保健ストラテジーシリーズ改訂会議開催
- ・10月13日 大学国際シンポジウム来賓挨拶（動画）
- ・10月15日 第35回大会シンポジウム（学長、学生対談）
- ・11月16日 櫻風会だより 寄稿確認
- ・11月30日 大久保利晃記念産業保健奨励賞候補者推薦
- ・12月6日 医学部5年生学生現場実習中の説明会
- ・12月15日 登録メール不達者への対応指示
- ・1月1日 年始挨拶（会員向け）
- ・1月3～5日 令和6年能登半島地震に対する情報発信指示
- ・1月4日 会費過払いへの対応検討（1月度 Zasso）

2) 総務（佐藤、中谷）

- ・2024年1月21日時点の会員総数は960人となっている。
- ・評議員の任期は原則1期2年としているが、開始直後の第1期と第2期は安定的な評議員会および評議員の取り組みをお願いするために2期連続の任をお願いした。第2期の任期が2024年10月（総会）までのため、2024年4月の評議員会にて現任の評議員に任期継続の意向確認を行う予定とする。

3) 会計（守田、本田）

- ・第34期第3回理事会にて決定した会費納入確認と未納者への対応を進めている。
- 会費未納者の確認が容易となり、支払者が分かりやすいように、会員システムに表記される年会費アイテム名称を「年会費」に統一した。そして、2020年度以降の会費未納状況を正確に確認した。これから2020年度以降に3期の未納がある会員に納入催促と会員継続意志の確認を行う。

4) 広報（山瀧、山下、山本、荒木）

- ・主な報告内容
 - 産推研/メンバーシステム HP について
 - 産推研 HP は鈴木さんに委託している。
 - サーバをお名前.comの有償サーバに移行しHTTPS化完了した。
 - 会員限定情報はメンバーシステム HP を利用している。
 - 産推研 ML の運用 について
 - 908人、1118件に配信している（2024年1月時点）。
 - 会員には最新情報の登録をお願いする案内を出した。エラーメールが減少した。
 - メンバーシステムからの不達が68件ある。（前回理事会時点は80件）
 - メルマガ発行
 - 年4回、地方会予定などを掲載している。
 - 産推研紹介動画作成
 - （※限定公開のため、このPDFファイルではURLを省略。2024年2月8日投稿の産推研 ML[SSK:007150]に記載。）
 - 評議員 Slack 作成
 - 今後の運用について検討中である。
- ・今後の検討内容として、産推研の認知向上、HPの運営、メルマガ等の媒体の活用を考えている。
 - 産業医科大学学生諸君に贈る歌の動画ファイルを産推研広報のYouTubeチャンネルに掲載

5) 研修教育（増田、楠本、樋上）

- ・第34期理事会研修会「化学物質の自律的管理～リスクアセスメント健診について」を開催した。
講師：宮本 俊明先生（日本製鉄 東日本製鉄所）
日時：10月31日（参加者数 141名、後日のアーカイブ視聴も多数）
- ・第35期の研修会開催も検討を進める。テーマの要望あれば多方面から上げてほしい。

6) 学術（喜多村、池上、久保）

- ・学術担当が関係した研究調査依頼はなかった。

7) IT（清水、橋元、倉岡）

- ・共有 Zoom Pro アカウントのライセンスを更新した（毎年1月）
ライセンス費用は値上がり傾向にある。
Zoom社によるアカウント共有のルールが度々変更されており、今後影響を受ける可能性あり。

4. 地方会報告

1) 関東（小笠原）

- ・活動予定

- ・関東地方会第 84 回研究会
日程：2024 年 2 月 25 日（日）14 時～17 時 日本橋ライフサイエンス HUB 8F & オンラインのハイブリッド
テーマ：チーム連携
概要：2023 年 12 月に産推研メーリングリストでの開催案内（第一報，2023/12/10 投稿）に記載の事前アンケートにて、ご意見を募らせていただき、チーム連携について課題に感じたこと、そしてどのようにこれに対して対処したかを、会員の皆さまから貴重なご意見いただきました。（37 名の会員から回答）
組織の方向性の違いやモチベーション、役割分担等の共通の課題や業種・会社の規模感や立場の違いならではの課題と対応について共有いただきました！
今回は皆様のあるあるな課題について、事例検討等を通じて対応や悩みの解決のきっかけを考えていきたいと考えております。
懇親会：アルポルトカフェ日本橋高島屋(17:30～19:30)
- ・関東地方会第 85 回研究会
日程：2024 年 7 月 6 日（土）
テーマ：CBRNE（仮）
- ・関東地方会会計報告があった。
- ・産推研関東地方会事務局が 4 名増員した。ご興味ある方は小笠原（関東地方会 会長）までご連絡ください。

2) 東海（高畑）

活動報告

- ・東海地方会第 28 回研究会 2023 年 9 月 24 日（日）を開催した。参加者 27 名（現地 15 名、オンライン 12 名）
＜名誉地方会長講演＞西 賢一郎 先生（ジヤトコ，20 回生）
＜ディスカッション＞「どうする？これからの東海地方会」
- ・第 8 回東海ほけんの会 2023 年 11 月 18 日（土）を開催した。参加者 10 名
「みんな今何してる？直接お会いして情報交換しましょう」
テーマ：特定保健指導実施の変化点・化学物質管理について

活動予定

- ・東海地方会第 29 回研究会 2024 年 3 月 9 日（土） 現地開催 14:00～16:45
会場：ウインクあいち 1003 会議室
＜基調講演＞富田 晃行先生（三菱電機名古屋製作所，4 回生）
＜活動報告＞田中 みき氏（トヨタ自動車，専攻科 15 期生）
＜話題提供＞自律的化学物質管理について（環境マネジメント学科卒の立場から）
- ・東海地方会会計報告があった。

3) 近畿（深井）

活動予定

- ・近畿地方会第 51 回研究会
テーマ：「精神障害の認定基準、過重労働チェックリストの変更に関して現場で対応が必要なこと」
開催日：2024 年 4 月 6 日（土）15:00～17:30
開催場所：大阪市内の会場（後日、オンデマンド配信予定）
【演者】吉川徹先生（労働安全衛生総合研究所，13 回生）

4) 九州（浅海）

活動報告

- ・2022 年 10 月 8 日 九州地方会第 49 回研究会／第 40 回産業医科大学学会との共同開催
- ・2023 年 2 月 11 日 九州地方会第 50 回研究会／産衛・九州地方会 医部会研修会との共同開催
- ・2023 年 5 月 18 日 九州地方会第 51 回研究会（@産業医科大学 現地開催のみ）
- ・2023 年 10 月 14・15 日第 35 回全国大会／第 41 回産業医科大学学会・国際シンポジウムとの共催
ハイブリッド開催：参加総数 198 名（現地 132 名、オンライン 66 名）
- ・2024 年 1 月 20 日 九州地方会第 52 回研究会／産衛九州地方会 医部会研修会との共催
現地開催：参加総数 36 名（うち会員 21 名）
- ・九州地方会会計報告があった。

5. 第 36 回全国大会開催準備状況（深井）

日時：2024 年 10 月 26 日（土）（27 日：ゴルフコンペ予定）
場所：大阪府大阪市北区中之島 1 丁目 1-27
大会長 深井 恭佑（26 回生）
事務局長 堤 雄介（27 回生）、伊藤 遼太郎（33 回生）、福田 郁巳（看 8 期生）

6. 医学部同窓会（西）、樺風会（樋上）

- ・特記すべき報告事項なし

7. 今後の日程

- ・理事会（現地&オンラインのハイブリッド形式）
第2回 5月18日（土）14～17時
第3回 9月28日（土）14～17時
- ・評議員会（リモート）：4月13日（土）17～19時
- ・第36回全国大会・第36期総会：10月26日（土）

以上